

2007年7月発行

編集・発行

君津中央病院

☎ 0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。

《今号の表紙》

【ナルミズ沢】

利根川の上流に温泉で有名な宝川がありますが、さらに上流にナルミズ沢という沢があります。この沢を遡行すると朝日岳という山に登ることができます。夏の尾根歩きは暑くて大変ですが、この沢には夏にも雪渓が残っている程で涼しく気持ち良く登ることができます。最上部は天国に続く道と呼ばれるほどの雰囲気の良いところです。

医務局次長・心臓血管外科部長 須藤 義夫

基本方針

- 1、接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2、高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3、包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4、救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5、職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6、病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。



認定第JC295号
〈一般病院〉
2004.08.23 -
2009.0.822

JCQHCとは、市民が適切で質の高い医療を安心して享受できるよう、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者

診療科紹介

内分泌代謝科

Department of endocrinology and metabolism

君津中央病院内分泌代謝科

私達の体の中では、色々な作用を持つ物質がうまく調和して全身の臓器に作用し、人間の生命を維持し、正常な代謝を保っています。これらの、生命体の正常な機能を保つのに必要な物質のしくみが内分泌代謝系です。内分泌代謝作用を示す物質をホルモンと呼びます。ホルモンとは、人体の中でごく微量しか存在しないにもかかわらず、非常に強力な体の調節作用を示す情報伝達物質のことです。ホルモンを作って分泌する臓器を内分泌臓器と呼びます。ちょっと挙げただけでも、脳視床下部、脳下垂体、甲状腺、副甲状腺、膵臓、副腎、卵巣、精巣、心臓、肝臓、腎臓などの多くの臓器があります。我々の体には100種類以上のホルモンが存在し、今日でも新しいホルモンの発見が続いています。内分泌代謝科は、様々なホルモン異常や代謝異常を専門的に治療する内科です。対象となる疾患は、頻度の多い糖尿病・脂質代謝異常・甲状腺疾患があり、また比較的稀な下垂体疾患・副腎疾患など、全身におよびます。

最近、メタボリックシンドロームが話題となっていますが、このメタボリックシンドロームも内分泌代謝科が担当しています。



内分泌代謝科病棟スタッフ



内分泌代謝科外来スタッフ

外来診療

平成19年6月現在、常勤医3名・非常勤医1名で診療に当たっています。月曜から金曜まで毎日、予約外来を行っています。

外来では糖尿病の患者さまが非常に多いのが実状です。糖尿病は、現在全国では740万人の患者がいると推定されていて、40歳以上の10人に1人は糖尿病の計算になります。まさに国民病のような状態で、しかも患者数が年々増加傾向にあることが問題となっています。

糖尿病治療の原則は生活習慣の改善です。患者さま個々に合わせた食事療法・運動療法が大切となります。また、糖尿病は初期には無症状であることが特徴で、患者さまに糖尿病がどうして治療しなければならないかを知っていただくことが治療を継続するために大変重要なことです。糖尿病は網膜症・腎症・神経障害や動脈硬化症などの合併症を知らず知らずのうちに引き起こす病気です。これらの合併症を防ぐためには、生活習慣の改善のほかに薬を適切に使用することも大切です。正確にご自分の検査結果を判断することも大切です。このために、当科では看護師・栄養士・検査技師と医師が協力して、定期的に月2回の糖尿病教室を開催し、患者さまの教育指導を行っています。

初めて糖尿病と診断された方は、ぜひご家族と一緒に糖尿病教室を受講していただけたらと思います。

また、メタボリックシンドロームでは糖尿病だけでなく、脂質代謝異常や高血圧の管理も大切です。一方、喫煙も立派な心血管病のリスクの1つですので、これらの患者さまにとっては禁煙も大事な治療となります。甲状腺疾患も患者さまが多くいます。バセドウ病や橋本病などの甲状腺ホルモン異常を外来で治療しています。



内分泌代謝科病棟

7東病棟に約10床の入院病棟を運営しています。入院患者さまの約半分は糖尿病教育入院です。糖尿病教育入院では、実際にご自分にあった食事療法を経験していただき、退院後の治療改善のきっかけにいただければと思っています。また、入院して集中的に血糖コントロールを改善したり、合併症の進行程度を精査して治療方針を考えたりすることができます。外来では時間が短くてインスリンの注射を覚えられない患者さまが時間をかけて注射技術を習得するために入院されることもあります。糖尿病教育入院以外には、稀なホルモン異常を精査するための入院や進行した糖尿病合併症の治療のための入院などがあります。

診療実績

当科の1日平均外来患者数は、平成14年度は36名でしたが、平成15年度には49名、平成16年度には61名、平成17年度には72名と増加してきています。外来の診療枠を増やすなどの対応をしていますが、それでも医師数の限界から外来診療は大変混雑し、患者さまには多大なご迷惑をかけています。この場をお借りして、お詫び申し上げます。少しでも快適に診療を受けていただけるように、今後も努力していく所存です。

内分泌代謝科部長 内田 大学

糖尿病看護認定看護師 獅子田 あかね



糖尿病を持つ患者さまは年々増加しております。患者さまが糖尿病と向き合い、健康的で豊かな生活が送れるよう専門的な知識や技術を活かし療養支援を行うことが糖尿病看護認定看護師の役割です。私は現在、外来で患者さまの血糖自己測定やインスリン注射の導入、また合併症

である糖尿病性足病変の予防や悪化予防のため、フットケアも行っております。面談の時間を設け、お話をうかがい個々に合わせた指導を心掛けています。これからも糖尿病看護認定看護師として患者さまや、その家族のサポートに努力していきたいと思っています。院内でも、糖尿病看護における看護の質の向上を目指して頑張っています。

診療科紹介

呼吸器外科

Department of thoracic surgery



呼吸器外科スタッフ

君津中央病院呼吸器外科

呼吸器外科では胸部一般外科、すなわち胸部のうち心臓大血管と食道をのぞいた領域を扱っています。具体的には肺癌などの肺・気管支悪性腫瘍、胸腺腫などの縦隔腫瘍、胸膜中皮腫などの胸膜腫瘍、胸壁腫瘍、自然気胸などの嚢胞性肺疾患、胸部外傷、肺膿瘍や膿胸などの感染性疾患などです。また重症筋無力症に対する胸腺摘出術も当科で行っています。

当院は、日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設、日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設、日本気管支学会認定医制度認定施設などの指定を受けています。

外来診療

外来は火曜日を除く平日の午前に診療を行っています。受付時間は午前8:30～11:00ですが患者さまの病状によっては他の時間帯でも救急外来で診療を行います。悪性疾患では特に手術後も外来で経過観察を続けることが重要ですが、当科では通院プロトコルを作成し定期的な検査を漏らさず行うよう心がけています。通院治療可能な方には外来化学療法などの治療も行っています。

呼吸器外科領域の検査

肺癌は全身に転移しうる特徴をもっています。このため診断確定に必要な気管支鏡検査の他に様々な検査が必要となります。当院では多くの先進的な検査を受けることが可能です。小さな脳転移を見つけるのに有用なMRI検査、骨やリンパ節への転移の有無を調べるシンチグラム、早期の中枢型肺癌を見つけるための蛍光気管支鏡(D-Light/AF system)、気管支周囲のリンパ節生検が可能な超音波気管支鏡(EBUS)などです。

全身の癌転移の検索に有用なFDG-PET検査が必要な場合は他院に紹介するシステムが確立しています。

その他、気胸の治療をより効果的に行うための胸腔造影検査、慢性肺疾患の診断のための胸腔鏡下生検などの検査も行っています。

呼吸器外科病棟

呼吸器外科は、6階西病棟と5階西病棟が主な入院病棟となっています。両病棟あわせて30～40人の患者さまが入院治療を受けています。手術、化学療法、放射線治療など受ける治療は様々です。

呼吸器外科手術

当科では年間120件程度の手術を行っています。最も多い疾患は肺癌ですが標準的な手術では胸腔鏡を用いることで10cm前後の小さな創で手術を行うことが可能となりました。進行の程度によっては胸骨縦切開によるリンパ節郭清といった拡大手術を行うこともあります。

自然気胸に対しては胸腔鏡手術で標準的な操作孔3個の手術よりも創が少ない操作孔2個の手術を行っています。シートによるカバーリングを行うことで以前の3操作孔手術と同等あるいはそれ以下の再発率が期待できます。気胸の手術を避けたいケースでは胸腔造影下選択的フィブリンのり注入法も導入しています。

他部門との連携

肺癌などの悪性腫瘍は外科的切除のみでなく、化学療法、放射線療法など様々な治療法を組み合わせて用いる、いわゆる集学的治療が必要になることが多いため他部門との連携が欠かせません。定期的に呼吸器科、放射線科との合同カンファレンスを開き治療方針を決定します。

手術後に呼吸器のリハビリテーションが必要になる方も少なくないためリハビリテーション部門との連携にも心がけています。

また化学療法中の患者さま、手術後の患者さまには食欲不振、低栄養などの問題が生じることもありますので栄養科との連携も強化しています。

呼吸器外科部長 柿沢 公孝



君津中央病院の緩和医療について



君津中央病院で緩和医療科の診療が始まって約4年が経ちました。病院の中の一つの診療単位のため緩和ケア病棟と呼んでいますが、独立施設のホスピスと診療内容は変わりません。日本では健康保険による診療を行っておりますので対象となる患者さまは、癌などの悪性腫瘍または後天性免疫不全症候群（エイズ）の方で、手術や抗がん剤などもとの病気を治すための治療を行う時期でない方となっています。千葉県で6番目の入院施設としてスタートしましたが平成19年5月現在施設の数は4年前のままで増えておりません。

緩和ケア病棟の診療は、まず名前のとおり痛みや吐き気また息苦しさといった不快な症状に対処しますがここまでは臓器別の各診療科でも行われているところです。私たちはそのような症状のコントロールがある程度進んだ後、残された日々を「その方らしく」過ごしていただけるようお手伝いすることが仕事の中心と考えています。一般の診療科ではきちんと診断し、治療をするという目的で診療を行っており、この目的のためには採血や内視鏡などの検査、また手術や抗癌剤投与をはじめとした負担の多い治療も「がまんして」受けなければなりません。しかし、私たちの病棟では目的が異なり、患者さまの望まれることをなるべく実現し、望まれないことを行わないという原則を持っています。患者さまご本人と最初にお会いする時に「もうがまんする時期は過ぎました。」とお話するようにしています。「その方らしい」時間の過ごし方はお一人ずつまったく異っており、ご本人から教えていただかねばなりません。そのためにはあまり残りの時間が少なくなってからよりは、ある程度余裕を持って受診していただくほうが良いと思います。またこの時期になりますとご家族の協力はとても重要になります。病棟のスタッフはご家族とよく相談しながら日々の

過ごし方を工夫させていただいています。なるべく自宅で過ごしたいと希望される方は多く、介護保険などの社会的サービスなどの利用も考慮しながら条件が整った方は退院していただき、また必要になった時に再入院していただいています。また入院中でもできるだけ自宅にいらした時の生活を続けていただけるように全室を個室にしております。ただし残念ですが病院の中の施設ですので喫煙はできませんのでご承知ください。

現在所属の医師は、専任医の私以外に、開設以来精神科の遠藤部長が兼任の病棟医長として加わっており、また外科のトップである土屋診療技術局長も当科の病棟医長を兼任しております。今年度からもう一名ベテランの内科医である女性の鈴木医師が時々参加しております。病床は全室個室の20床で、うち4床のみが室料差額のある特別室です。入院費用は健康保険が適応され「緩和ケア病棟入院料」という定額制です。外来は完全予約制で火曜日と木曜日に開いており、初めての方やご家族とは約1時間かけて面接を行なっています。

詳細につきましては病棟に用意してあるパンフレットが病院のホームページより緩和医療科のサイトをご覧ください。

ご相談は原則として平日の10時から16時にお受けしますが、休日や夜間も病棟の看護師が対応いたします。下記にお問い合わせください。

副院長 緩和医療科部長 鈴木 紀彰

連絡先：君津中央病院 0438-36-1071(代)
4階東病棟（緩和ケア病棟）

病棟内
クリスマスイベント



スタッフ
ハンドベル演奏



看護局だより



平成19年度、看護局は変貌しつつあります。

入院されている患者さま7人に対して1人の割合で看護師が勤務する7対1看護配置が実施され、患者さまにはより手厚い看護を提供できる体制となりました。

看護現場では、痒い所に手が届く、痛い所にも手が届く、接遇の行き届いた看護が展開されています。

それぞれの病棟看護のスローガンを掲げました。

例えば7西病棟は“気づきの看護”、9西病棟は“待つより出向く看護”5西病棟は“患者さまをピカピカに”など、明るく、軽快に、実現可能な看護を目標にしています。

明るく元気で朗らかな看護のパワーをシャワーのように降り注いで、それぞれの目標達成に向けて、さあ！始動！

看護局長 長谷川 和子

7階西病棟カンファレンス



7階西病棟



こんにちは！7西病棟師長の金網です。当病棟は整形外科と歯口科の患者さまが入院しています。整形外科では骨折や脊椎(背骨)・脊髄の疾患、股関節や膝関節の疾患、リウマチなど、また歯口科では上顎・下顎骨骨折や、のう胞の患者さまが入院しています。

整形外科の患者さまは、痛みやしびれによって、仕事や家庭での生活を継続していく事が困難となり、身体的・精神的にダメージを負っている事が多く、私達は日常生活の援助と並行し、精神的なケアに重点をおいて、笑顔で日々看護にあたっています。窓やカーテンの開閉から、手の届かない物を取って欲しいなどの、要望にこたえていく家族のような存在であると同時に、月1回の勉強会を行い、専門的な知識をもって、患者さまを支えていけるよう努めています。

7階西病棟師長 金網 はるみ



7西病棟で働きはじめて1年がたちました。

日々回復されていく患者さまの姿に励まされる毎日です。

これからも、患者さまが笑顔で退院できるよう力になりたいと思います。

7階西病棟看護師 佐々木 もも子

栄養科だより

“骨を丈夫にするために”



「酢の効用」

小魚や小松菜、ひじき、乳製品は豊富にカルシウムが含まれています。

小魚を食べる時、酢を使った料理をすると魚の骨が柔らかくなり、カルシウムが溶出し、吸収されやすくなります。酢はカルシウムの吸収を高めるだけではなく、体内での利用率も高めます。

簡単♪健康レシピ♪

【わかさぎのマリネ】



分量 (1人分)

玉ねぎ……………1/8個

人参……………少量

紫玉ねぎ…………少量

ワカサギ……………5～6匹

片栗粉……………少々

揚げ油……………適量

<合わせ調味料>

酢……………大さじ1杯

サラダ油……………小さじ1杯

塩・こしょう……………少々

コンソメスープ……………大さじ3杯

作り方

①野菜は千切りにする。

②合わせ調味料を良く混ぜ合わせておく。

③わかさぎは、塩・こしょうを軽くまぶし、170度の油で揚げる。

④熱いうちに野菜をのせ、②のあわせ調味料をかけ、そのまま冷まします。

医療技術局 臨床工学科

医学の進歩とともに、現在の医療現場では高度化した多くの医療機器が多用されています。しかし、それらの高度な医療機器を安全に扱うためには医学的知識だけでは難しくなってきました。そこで医学と工学の知識を併せ持った「臨床工学技士」という専門家が誕生しました。臨床工学技士は装置を通して患者さまに医療を提供する職業なのです。しかし、この職業は他のコメディカル（診療放射線技師、臨床検査技士など）と違って、まだあまり知られていません。それは、この職業がどこで何をしている人なのかが知られていないからでしょう。ですから、私たち臨床工学技士についてもう少し詳しく説明をしたいと思います。

「人工心肺業務」

人工心肺装置とは心臓外科手術時に患者さまの心臓と肺の機能を代行する生命維持管理装置です。心臓あるいは大動脈を手術するときには心臓を一旦停止させなければなりません。もちろんこのままでは患者さまが危険ですから、この手術を行っている間は人工心肺装置が心臓と肺の働きを代行するわけです。まず、心臓に帰ってくる静脈血液を体外に引っ張ってきます。これにより心臓内の血液を除去することができ無血な術野を確保します。次に人工肺を通すことによって血液を酸素化させ動脈血に作り替えます。そして再び患者さまへ送血します。つまり、装置のポンプが心臓のポンプ機能を、また人工肺が肺のガス交換機能を代行しているのです。この装置は手術中に医師の指示のもと、臨床工学技士が操作します。緊急手術にも24時間体制で対応しております。



「人工呼吸器業務」

人工呼吸器とは、呼吸に支障をきたすような疾患によって自発呼吸ができなくなってしまった患者さまに対して、呼吸の代行・補助を行う生命維持管理装置のことです。この装置は医療ガス配管端末から純酸素と空気を取り込み、設定した濃度



に酸素濃度を調整して患者さまにガスを送ります。またガスの送り方も、患者さまによって細かく設定することが出来ます。例えば自分の呼吸に合わせて呼吸補助の回数を変えたり、気道内圧によって送るガスの圧を変えたりしています。この装置は病棟や手術室、ICU、救命救急センターなどで使用されています。臨床工学技士は人工呼吸器が動いている病棟に出向き正しく動いているか毎日チェックを行っています。

「血液浄化業務」

透析治療とは腎臓の機能が極度に低下してしまった患者さまが治療の対象となります。健康人は体内老廃物の排泄や体内水分量、電解質のバランスを腎臓の働きによって維持しています。しかし、腎臓が悪い人はこの調節がうまくできないため、体内に老廃物や余分な水分が溜まり、電解質のバランスも維持できなくなります。この状態が続くと命の危険にもつながってしまうのです。そこで透析装置が腎臓の機能を代行し、生命を維持することができるのです。この装置は、主に患者さまの腕に刺した針から装置に血液を引き込みます。そしてダイアライザと呼ばれる高分子膜を通すことによって老廃物を除去し、血中の水分量を調節した血液を再び患者さまへ針を通じて返血します。当院の透析業務は急性期のみを扱い2床で治療を行っております。



「臨床工学科スタッフ」

臨床工学技士はこれらの生命維持管理装置の操作以外にも病院内のほとんどの医療機器を中央管理することによって、日々安全な医療機器を提供しチーム医療の一員として努めております。



臨床工学科長 佐々木 優二

【君津中央病院 外来診療医師担当表】

平成19年7月1日現在

	月	火	水	木	金
86 総合診療科	比嘉勝司	鈴木秀子	比嘉勝司	比嘉勝司	三浦正巳
83 消化器科	畦元亮作 駒 嘉宏 新患担当医	吉田 有 秦佐智雄 新患担当医	畦元亮作 大学医師 新患担当医	(予約のみ)	藤森基次 大部誠道 新患担当医
89 血液・腫瘍内科			三浦祐司		五月女 隆
	午後				五月女 隆
87 膠原病内科				廣瀬晃一(予約のみ)	
85 内分泌代謝科	新患 再来	中村 晋 内田大学	山根天道 中村 晋 内田大学	鈴木佐和子 内田大学	山根天道 中村 晋
05 脳神経外科	新患 再来	大石博通 岡 陽一	興村義孝 須田純夫	興村義孝 磯部勝見	川崎宏一郎 岡 陽一
03 整形外科	紹介予約(毎週) 午前(1・3・5週) 午前(2・4週) 午前(毎週)	金山竜沢 蓮江文男 須藤英文 芝山昌貴 江口 和 齊藤雅彦 (交替制)	須藤英文 芝山昌貴 江口 和 齊藤雅彦 (交替制) 田中 正 芝山昌貴 江口 和 齊藤雅彦 (交替制)	田中 正 金山竜沢 大塚 誠 芝山昌貴 江口 和 齊藤雅彦 (交替制)	大塚 誠 林 隆之 林 隆之 芝山昌貴 江口 和 齊藤雅彦 (交替制)
92 緩和医療科		鈴木紀彰		鈴木紀彰	
02 外科		柳澤真司／竹内 修 午後 柳澤真司	竹内 修／岡本 亮 午後 竹内 修	新村兼康／外川 明 土屋俊一(乳腺) 外川 明 土屋俊一(乳腺)	海保 隆／外川 明 土屋俊一／柳澤真司 岡本 亮 土屋俊一／岡本 亮
91 形成外科		三木規子(再来予約のみ)	重原岳雄(新患・再来)	〔手術日〕	重原岳雄(新患・再来)
15 精神科		遠藤／林／大学医師(新患)	遠藤博久／林由紀子	林由紀子	遠藤博久 高瀬美咲／林由紀子
84 循環器科		氷見壽治 山本／藤本(交替制)	山本雅史 氷見壽治	藤本善英 氷見壽治	松戸裕治 藤本善英
	午後	氷見壽治／田中秀造	山本雅史／芳生旭志	藤本善英／関根 泰	松戸裕治／藤本善英
17 心臓血管外科		山口敏広	須藤義夫	〔手術日〕	須藤義夫
14 麻酔科		野村 明(予約のみ)	野村 明(予約のみ)	野村 明(予約のみ)	野村 明(予約のみ)
90 女性専用外来	(午後のみ)	鈴木秀子(予約のみ)		鈴木秀子(予約のみ)	
81 神経内科	新患 再来	八木下敏志行 澁谷和幹	澁谷和幹 八木下敏志行	磯瀬沙希里 澁谷和幹	磯瀬沙希里 八木下敏志行
04 呼吸器外科		柴 光年／柿澤公孝	佐藤行一郎(一般・禁煙)	柴 光年	柴 光年
82 呼吸器科		須田 明／庄司涼子	篠崎俊秀／矢幅美鈴	矢幅美鈴／重城喬行	篠崎俊秀／庄司涼子
10 産婦人科	新患 再来	神山正明 小林 治	山本憲子 江口 修	神山正明 交替制(予約のみ)	江口 修 神山正明
08 泌尿器科		渡部良夫	(特殊外来日) 渡部良夫	渡部良夫 坂本善郎	渡部良夫 永嶋 薫
11 眼科	紹介患者 再来(予約あり)	大学医師 交替制	渡辺 賢 交替制	(予約のみ) 交替制	忍足俊幸 交替制
20 歯科 歯科口腔外科		渡邊俊英 加藤義国 伊豫田 学	渡邊俊英 加藤義国 伊豫田 学	渡邊俊英 加藤義国 伊豫田 学	渡邊俊英 加藤義国 伊豫田 学
09 耳鼻咽喉科		上久保 出 河田佐和子 大学医師	高橋 直樹 河田佐和子	〔手術日〕 (新患のみ受付) 大学医師	高橋 直樹 上久保 出 大学医師
12 皮膚科		稲福和宏	稲福和宏	稲福和宏(予約のみ)	稲福和宏
	午後		稲福和宏(予約のみ)	(ストーム外来)	(フットケア外来)
16 新生児科		(乳児検診) 大曾根(第3週のみ)	大曾根義輝	(乳児検診) (当番制)	大曾根義輝
06 小児外科		山田慎一	山田慎一	(特殊外来日) (交替制)	山田慎一
07 小児科		田島和幸／諏訪部信一 吉橋 学／榎本麻衣子	多田弘子／吉橋 学 石田真穂／平川健一郎	森 淳夫(第2・第4) 多田弘子(第1・第3・第5) 諏訪部信一／本田喜子 カ石浩志／平川健一郎	田島和幸／諏訪部信一 榎本麻衣子／カ石浩志
13 放射線治療科(リニアック)		清水わか子	清水わか子	清水わか子	清水わか子
33 放射線科(RI)		平田 貴	平田 貴	平田 貴	平田 貴
外来ドック		高橋秀禎／山口敏広	山口敏広	高橋秀禎／山口敏広	高橋秀禎／山口敏広

大佐和分院よりお知らせ

ドック
受付中

外来診療日・診察担当者医師名

【受付時間】午前8:00～11:30／午後0:00～3:00
【診療開始時間】午前9:00～／午後1:30～

予約制

平成19年7月1日現在

	月		火		水		木		金		備考
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	桐谷	田中	桐谷		田中		桐谷	北湯口	中村	有馬	
小児科	有馬		北湯口		有馬		田中		北湯口		
循環器科		交替制									超音波検査のみ
神経内科									蒔谷		再来のみ予約
外科							朱				
整形外科	塚越				保住				小島		金曜は第1・3・5のみ
皮膚科			祓川								第2・4のみ
泌尿器科					茂田 (安)						
眼科	茂田 (今)		茂田 (今)		茂田 (今)	手術日			茂田 (今)		
ドック			山倉						田中		

スタッフ紹介

〈事務・受付〉

接遇とサービスを心がけ、心が安らぐ癒しの環境を、整えております。



〈外来クローカー〉



外来に受診される患者さまに気持ちの良い対応を心がけ、ミスが無いように業務に取り組んでいます。



〈栄養係〉

おいしい食事作りと栄養指導で治療のお手伝いをさせて頂いております。



お薬豆事典

💧 目薬は、1滴で十分!!

目薬をかなり多い滴数さしている方をよく見かけますが、皆さんは、一度にどのくらいさしていますか？人の目は、最大で30μLの容量があります。目薬の1滴が30～50μLであることを考えると、それ以上目薬を点眼しても目から溢れてしまうだけなのです。だから、1滴で十分ということになります。2種類以上の目薬を使う場合、目に入る容量が決まっているので、続けてさしてしまうと効果が減弱してしまいます。十分効果を発揮するには、最低5分以上の間隔が必要とされています。

編集後記

汗が気になり始め、暑い日も多くなってきましたが窓から入ってくる風は今のところさわやかに感じます。

30年程前、子供の頃の夏は気温が30℃を超えることは少なくクーラーはほとんど使ってなかったと記憶しています。

最近の夏は猛暑で運動をしなくなった私には夏の暑さが少し辛くなってきました。

夏はすぐそこまできています。

今年の夏はとても暑そうですので特に日射病、熱中症や食中毒には注意しましょう。

T・S

